

人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根をつくる



要 望 書

国道9号地すべり災害 早期復旧についての緊急要望

令和3年10月

島 根 県

国道9号はこれまでも災害による通行止めを経験しており、本年8月18日にも、出雲市多伎町小田地内で豪雨の影響による地すべりが発生し、全面通行止めとなった。

現在なお、出雲市と大田市が分断されていることから、通勤・通学、買い物など日常生活に支障をきたしており、被災箇所の日も早い復旧が必要である。

一方、広域的には、平成31年3月に開通した山陰道「出雲多伎IC～大田朝山IC間」が国道9号の代替路として機能し、ダブルネットワークの効果を大いに発揮しており、あらためて山陰道の必要性を認識したところである。

国道9号は島根県を東西に結ぶ唯一の路線であるため、この代替路となる山陰道の早期全線整備が必要である。

については、下記項目を要望する。

記

1. 国道9号の出雲市多伎町小田地内の被災箇所について、一日も早く復旧すること
2. 山陰道について、事業中区間を一日も早く完成させるとともに、未着手区間にすみやかに着手し、山陰道の早期全線整備を図ること
3. 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の取組を、計画的かつ着実に推進していくため、必要な予算を当初予算において安定的に確保すること

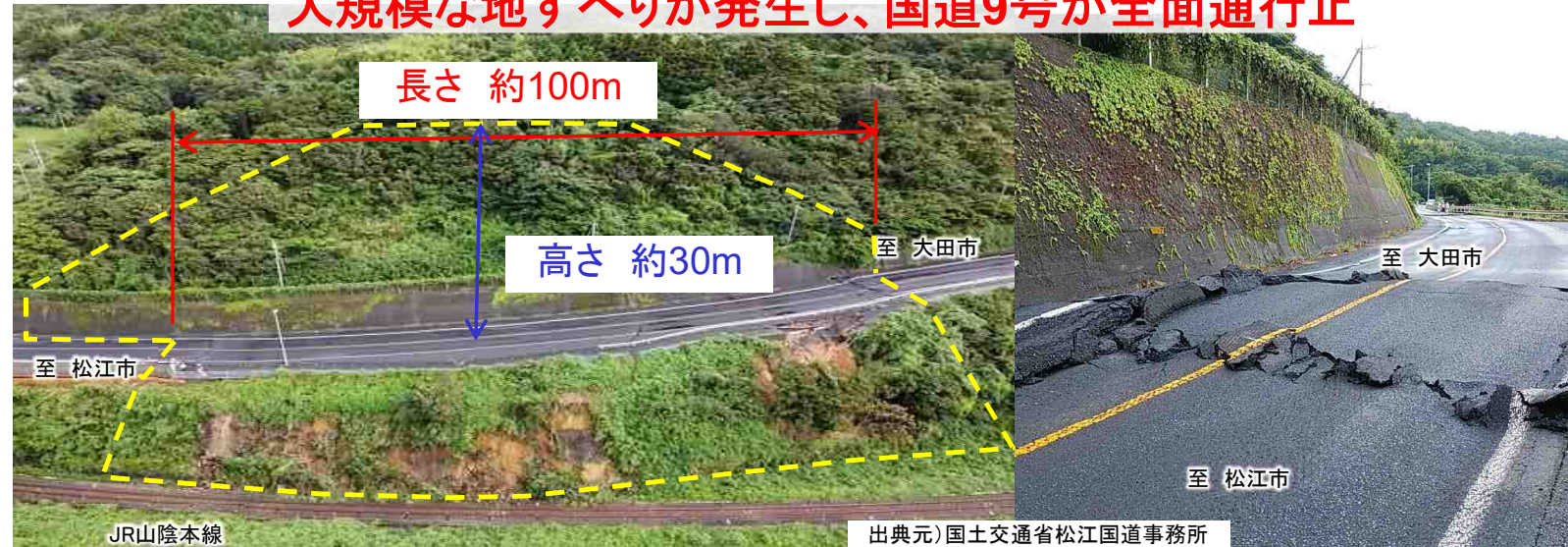
令和3年10月

島根県知事 丸山 達也

国道9号出雲市多伎町小田地内で地すべり発生! 資料 1



大規模な地すべりが発生し、国道9号が全面通行止

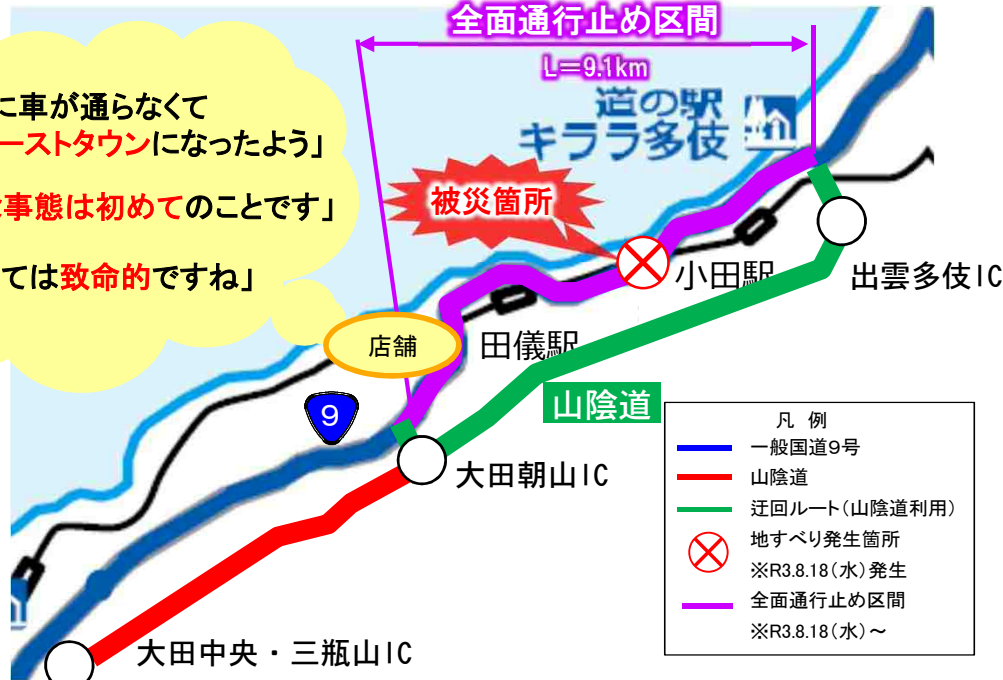


沿線店舗の声

「国道9号に車が通らなくて
街がゴースタウンになったよう」

「このような事態は初めての事です」

「うちにとっては致命的ですね」



JRも不通となり、160人を超える
高校生の通学の足を直撃!



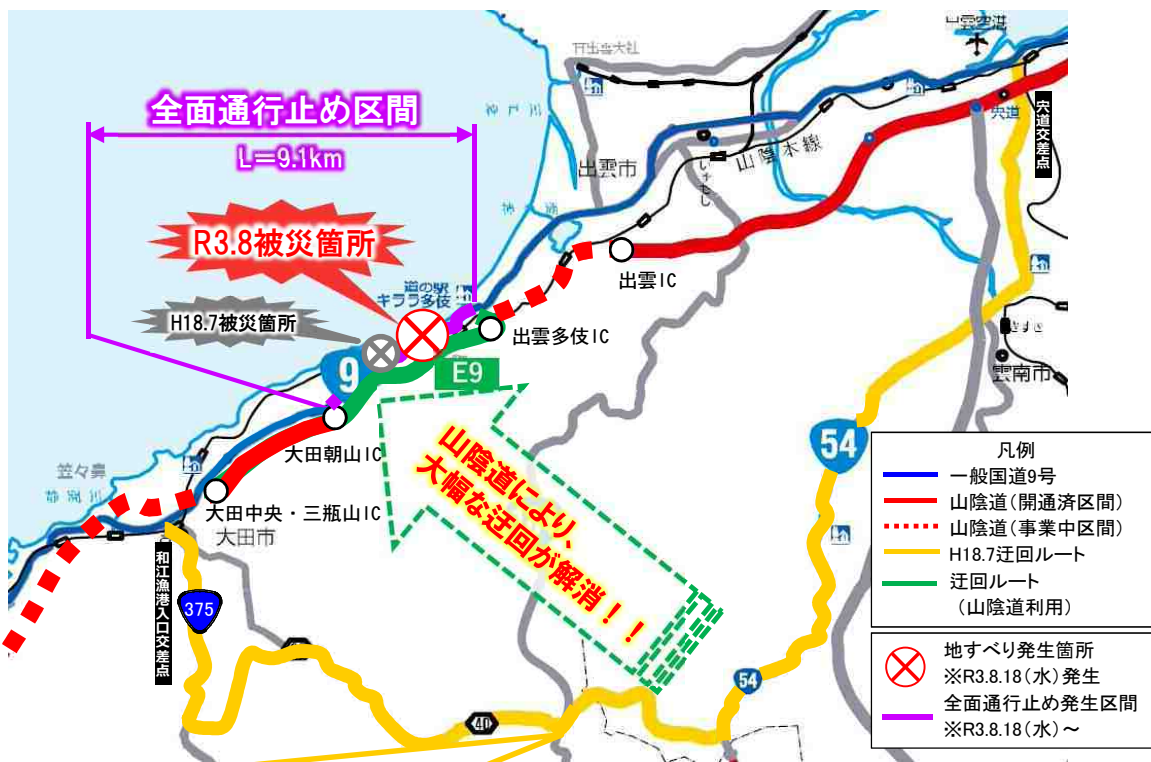
代替バスによる通学状況



山陰道が大規模災害時に代替路機能を発揮！ 資料2

○令和3年8月の大雨により国道9号が全面通行止めとなったが、**山陰道が代替路として機能を発揮し、東西を結ぶ道路ネットワーク途絶の回避に貢献！！**

国道9号の全面通行止めによる迂回状況



平成18年7月、国道9号が約35時間の全面通行止めとなり、国道54号での迂回を強いられ、所要時間が大幅に増加した。

<道路利用者の声>



社の配送関係に大きな影響はなく、高速(山陰道)があっただけよかった。山陰道がなく、配送ができなかったら、休業となっていたかもしれない。(R3.9 出雲市内の製造メーカーへのヒアリング結果)

山陰道整備前後の宍道～大田間の迂回時間

⚠ H18年災害時迂回ルートは、現在と比較し**約2倍(127分)の時間を要した。**

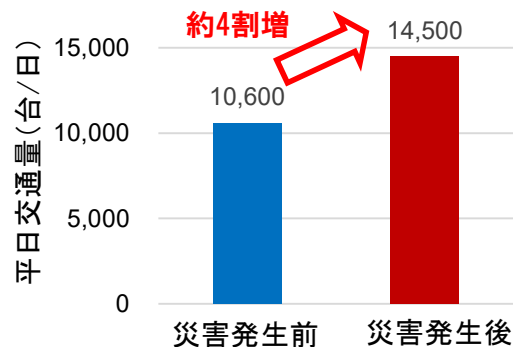


※)H18年度:R54号～県道川本波多線～県道三瓶山公園線～大邑広域農道～R375号
R3年度:R9号～山陰道(出雲多伎IC～大田中央・三瓶山IC)～R9号
(走行速度は、山陰道は70km/h、一般道は40km/hと設定)

災害発生前後の山陰道の交通量

通行止め後の山陰道の交通量は、**約4割増加**しており、**代替路としての機能を発揮**している。

災害発生前後の山陰道の交通量比較



※)交通量グラフは松江国道事務所データから作成

出典元)国土交通省松江国道事務所



国道9号と山陰道とのダブルネットワークが必要 山陰道未開通区間の早期全線整備を！

資料3

